



# !!! TAC 通信

No.24 平成29年6月1日  
【発行】JAこまち  
担い手推進課  
TEL:0183-78-2244

苗箱数の圧縮により

資材費・労働力の削減！！

## コスト削減にむけての密苗移植取り組み事例

今回の TAC 通信では管内で行われている密苗の取り組みを紹介します。

◎JA こまち密苗試験圃場(湯沢市山田地区) 品種 あきたこまち

播種日 4月29日

田植日 5月19日

播種量 290g(催芽籾)

育苗日数 20日

12箱/10a 70株/坪

専用田植え機での移植

1株あたり2~3本の植え付け



6月9日(分けつ始期)

草丈 25.7cm

株当本数 6.6本

m<sup>2</sup>当本数 132.6

葉数 5.4葉

(対象区、普通田植) (前年比)

草丈 29.6cm (90%)

株当本数 4.7本 (53%)

m<sup>2</sup>当本数 89.2 (48%)

葉数 6.0葉 (95%)



◎湯沢市幡野地区

播種日 4月25日頃

田植日 5月26日

播種量 220g(催芽籾)

既存の播種機で播種、無加温育苗

16~17箱/10a 60株/坪

農家の方のコメント

5/26播種から約1ヶ月、田植最終日

育苗日数1ヶ月くらいが苗の限界では

もう少し播種量多くてもよかった。



◎湯沢市須川地区

播種日 4月19日

田植日 5月21日

播種量 290g(催芽籾)

13箱/10a 60株/坪

専用田植え機での移植

1株あたり3~4本の植え付け

(6月6日現在)



・種子量が多いため、育苗後半の管理や適正な施肥量はどれくらいか。

・病虫害対策の箱施用剤、除草剤の使用結果についてなど。

今後も随時、生育経過、関連情報を紹介していきます。

JAこまち HP(<http://ja-komachi.jp/>)TAC通信 も掲載しております。